

学校だより vol.5

2026年2月1日発行

2年生

基礎看護学Ⅱ期実習を終えて

❖ 今回の実習で、患者さんに負担をかけないために、経過観察をしっかり行い、前日と違うことはないかを把握し、必要な援助や方法を考える必要があると学びました。この学びを生かし、今後の実習ではその日の患者さんにあった看護を改めて考えられるように、また、受け持たせていただいている自覚を持って自分から援助の変更を提案し、積極的に自分の考えた看護を実践できるようにしていきたいです。

❖ 基礎看護学Ⅱ期実習では、対象の疾患だけでなく、希望や生活背景、価値観など、さまざまな視点から情報を収集し、一人ひとりに合った援助を行うことが看護であると感じました。コミュニケーションをとる際には、対象の言葉の裏にある思いに着目することで、援助の方法やタイミングを工夫するなど、その人に合わせた看護を提供することができました。その結果、対象のADLの向上や自己効力感の高まりがみられ、とてもやりがいのある10日間となりました。

自己研修旅行



❖ 石川県立中央病院で災害看護を学び、被災地における医療の在り方について深く考える機会となりました。能登半島地震が起きた際、実際に使われた物や、災害現場の映像を見せてもらい、教科書では学べない“現場のリアル”を感じることができました。限られた資源の中で患者の命と生活を守るために、チームで協力しながら柔軟に対応している姿や、冷静な判断力の重要性を改めて実感し、災害時にも安心を届けられる看護師の姿に感動しました。また、被災者への支援だけでなく、医療従事者の心身のケアや、医療従事者同士の理解・尊重・協力の重要性も感じました。

今回の学びを今後の看護実践に活かし、どのような状況でも対象に寄り添える看護師を目指したいと思います。

❖ ドラマや映画でよく見るドクターヘリを間近で見ることができ、みんな大興奮！

普段は見ることのできない病院の裏側を知ることができて、とても貴重な経験になりました。

研修だけでなく、バス内や旅館、自由行動の時間などでクラスの仲も深まり、より一層絆が強くなったように感じます。

あと1年と少し、全員が理想の看護師になれるよう、支え合いながら実習や試験を乗り越えていきたいです。

今後の予定



2年生
臨地実習スタート



2月15日 看護師国家試験
(合格発表は3月24日！)



3月5日 卒業式



1年生 学生生活

❖ 看護学生になって半年が経ち、振り返ってみるとあつという間でした。この半年でいちばん大きな出来事は、最高の仲間に出会えたことだと思います。授業や実技練習でつまづいたとき、いつも一緒に悩んでくれるのは仲間です。学習や看護技術の練習は決して簡単ではなく、思った以上に変化だと感じる場面も多くあります。お互いに分からないところを教え合ったり、演習で失敗して落ち込んだときに励まし合ったり、一緒に笑いながら乗り越えてきた時間はとても思い出に残っています。この半年は、楽しいことも大変なことも全部ひっくるめて、とても濃くて貴重な時間でした。そして何より、こんなに素敵な仲間に出会えたことが、これから先の勉強や実習を頑張る力になっています。残りの学生生活でも、仲間と共に成長しながら、一步步看護師への道を歩んでいきたいと思っています。

❖ 私は実家が遠いため、入学と同時に寮での生活が始まりました。家族になかなか会えなくなるため、不安と緊張でいっぱいでした。そんな中でも、同じ目標を持つ仲間に出会えたことが嬉しくて、学校生活が楽しくなりました。演習では、全身清拭やベッドメイキングなど、慣れないことも多いですが、練習を重ね、できることが増えていき、自分が少しずつ看護師に近づいているようで嬉しいです。また、分からないことや不安なことがあるときに優しく教えてくださる先輩方の存在も心強く、安心して学べる環境に感謝しています。立派な看護師になれるよう、これからも今出来ることを一生懸命頑張りたいです。



3年生 3年間を振り返って

❖ これまでの基礎看護学実習や領域実習では、患者さん一人ひとりの関わりの中で「人に寄り添う看護」の大切さを学びました。疾患や症状の背景には、その人の生活や思いがあることを知り、身体だけでなく心に寄り添う姿勢を意識して関わるよう努めてきました。自分の未熟さに悩むこともありましたが、その度に同じ夢をもつ仲間や患者さんの笑顔、先生や指導者さんからの言葉に支えられ、前を向いて努力することができました。これからは、学生としての学びを糧に実践を重ね、相手の立場に立って考えられる看護師を目指していきます。

❖ 看護学校での3年間は、勉強に実習にと、目まぐるしく忙しい毎日でした。

ときには悩んだり落ち込んだりすることもありましたが、そんな時にいつも支えてくれたのはクラスの仲間たち、そして先生方の存在でした。

また、研修旅行や交流会などの学校行事では、クラスのみんなとたくさん笑い合い、絆を深める時間を過ごしました。

勉強だけでなく、人とのつながりや、温かさを学ぶことができたことも、この学校で得た大切な宝物です。そうした一つひとつの思い出が、これから医療の現場で働く上での大きな支えになると感じています。

この学校で培った仲間と支え合う力と人に寄り添う心を胸に、チーム医療の一員としてこれからも努力を重ね、成長していきたいと思っています。

